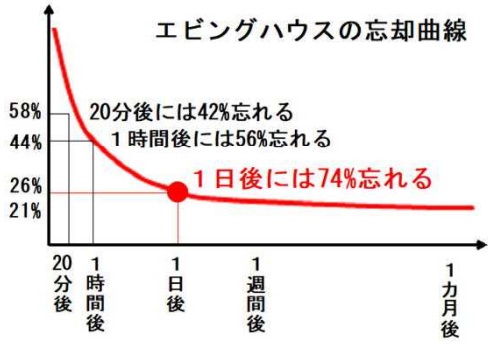
鹿児島市立桜丘中学校
令和3年5月24日

第2号

復習のススメ

校長　上久保大介

例年より１９日早く梅雨に入りました。観測史上２番目に早いそうです。これも温暖化のせいでしょうか。放課後の校庭から聞こえてきていた**部活動の威勢のいい声も聞かれません**。３年生最後の中体連の大会も近づいている中、十分な練習もできず生徒も顧問も焦っているのではないかと思います。

さて、学校は様々な勉強をするところですが、勉強したことを覚えておくことはなかなか難しいことです。下の図は**「エビングハウスの忘却曲線」**と呼ばれているグラフで、意味のないアルファベットの羅列を覚えた被験者が**どのくらいの時間後に、どの程度覚えているか**（忘れてしまうか）を表したグラフです。実際の実験は大変複雑で、覚えている量を単純に表せるものではありませんが、一般的にはこのグラフから**人間の記憶の忘れやすさ**を見ることができると言われています。例えば、**「覚えてから一日後は２６％しか覚えていない」**という結果ですが、逆に言うと**「覚えてから一日後には７４％も忘れてしまう」**ということになります。だからこそ、学習したことを記憶するためには、**学習してからできるだけ早い時期に復習を繰り返すことが大切**なのだという説明によく用いられます。しかし、この実験のように、覚える内容が意味のないアルファベットの羅列ではなく、自らが興味をもって取り組んだ学習であれば、この忘却曲線はもっと緩やかになるのではないかと私は考えています。学校においては、生徒に**興味・関心を持たせ、意欲的に授業に臨ませられるよう**、毎日先生方が工夫しています。生徒も**「勉強することの意味と目的を自ら考えたうえで、その日のうちに家庭で復習をする」**ことにより学習内容は記憶として定着し易くなるのではないかと私は思います。ご家庭でも、お子さんに励ましのお声掛けをお願いします。